

目指したきっかけは？

子どもの頃から動物に関わる仕事に就きたいと思っていました。大学の畜産学科に通い、進路を考える中で、ドッグトレーナーの存在を知りました。警察犬訓練所で住み込みで修行した後、独立して家庭犬を褒めてしつけするスタイルにたどり着きました。

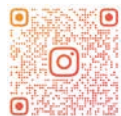
どんな仕事ですか？

犬と人が家で仲良く暮らしていけるように、犬と飼い主さん、両方にお互いの接し方をお伝える職業です。広い意味では、警察犬訓練士や災害救助犬訓練士など、ジャンルもさまざまあります。



ドッグトレーナー

はやし なつこ
林 夏子 さん
しものせき しゅうしん
下関市出身



▲下関市公式 Instagramへ

うれしいこと・大変なこと

飼い主さんの悩みが解決し、飼い主さんと犬が意思疎通できたときがうれしいです。教えたことが犬に伝わったときの喜びの瞬間もたまりません。犬が大好きなのであまり大変だとは感じませんが、24時間体制のお泊り預かりとか、家庭で手に負えない飼い始めの犬を預かることですかね。

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

「ドッグトレーナーとして大事なことは、楽しみながら犬や人と接することです。その経験が全部私の引き出しになっています」と話す林さんは、まさにプロフェッショナルでした。

犬の保育園「ビバわんこ」

取材陣を迎えてくれたのは、ハウストレーニング中のかわいい11頭の預かり家庭犬たち。「誰が来たの？」と言わんばかりにちよっぴり興奮した様子でしたが、すかさず林さんは、犬の感情を察知。犬種や性格も踏まえて、犬の立場を説明し、今それぞれの犬に合った心の距離の縮め方を、豊富な知識と経験をもとに教えてくれます。

百戦錬磨のドッグトレーナー

1日の出来事を飼い主にレポートします。まるで、保育園の連絡帳みたい！



「今回の取材は、犬の社会化に絶好の機会ですね」と明るく話す林さん。